

私は、七月二十八日から七月三十日まで静岡県牧ノ原市にある牧ノ原やまばと学園を訪問してきました。台風のため行かれるか心配だったのですが無事に行くことができました。

まず、一日目には聖ルカホームというご高齢の方や認知症のある方が利用している施設を訪問してきました。そこでは納涼祭の準備のため、かきごおりを利用者さんと食べました。私は利用者さん達が下でかきごおりを食べるために部屋から移動する時、今までバリアフリーの体験などで人が乗っていない車イスを押すことはあったのですが、実際に困っている人の車イスを初めて押すことができました。そこでは手順を間違えたりしないかとても心配だったのですが、正しく操作することができました。これからも私の周りで車イスに乗っている方が困っていたら、この経験をいかして自分から助けてあげたいです。

2日目には、やまばと希望寮という重度の障害を持っている方が利用している施設を訪問してきました。そこでは、利用者さんの障害のレベルが5.8いう事を初めて聞きとてもおどろきました。私は利用者さんのかきごおりを作って渡すという体験をしました。私は木村さんという方にかきごおりを口に入れてあげました。その時、

「おいしいですか？」

と言いました。希望寮では言葉を持たない方が多く、利用者さんが私に伝えたいことをしっかり理解できるか心配でした。しかし、木村さんという方はとても笑顔になってくれたのでおいしいのだなという事が伝わりました。自分でも少し利用者さんが私に伝えたいことを理解することができたと感じられたので良かったです。

3日目には、ケアセンターマーガレットという障害者の方が働いたり交流したりする場所を訪問してきました。私達は短い間でしたが障害者の方とダンスをしたりボーリングをしたりしてとても楽しい一時をすごしました。そんな中、私の左隣に座っていた方はずっと自分の手だけを見ていてどうしたら楽しんでもらえるかなと悩んでいた時、私はその人の前で手拍子を試みることにしました。そうすると、その人も一緒に手拍子をしてくれて楽しむことができ、とても嬉しかったです。

私は改めてこの三日間やまばと学園を訪問して言葉の大切さに気づくことができました。利用者さんのように言葉を持たない人は必死で私達に伝えようとしているのに、言葉を持っている人は言葉を持っているにもかかわらず批判や悪口に使うことがとても良くないと感じました。このように、やまばと学園の訪問はたくさんの方の事を学ぶことができるとても良い機会だと思います。みなさんもぜひ行ってみてください。